

しよる来の夢

一宮西部小・4 加藤 楓

わたしは、日本の歴史が大好きです。なので、しよる来、歴史学者になりたいです。

歴史学者とは、歴史を後生に残すために、文章化したり、史料を元に歴史を研究して、ろん文や本を書いたり、発表したりする人です。また、すべての歴史をやる人は少なく、日本史や西洋史、東洋史など、自分のきょう味のある分野だけやる人が多いそうです。わたしは、日本史をやりたいです。

歴史にきょう味をもったきっかけは、三年生のとき、友達にすすめられた「戦国姫」（作・藤咲あゆな）という本でした。「戦国姫」は、その名の通り、戦国時代のおひめ様の話です。織田信長の正室・濃姫や、とよ臣ひでよしの側室・茶々（よどの）など、いろいろなおひめ様がのっています。すすめられて読んでみたけど、とてもくわしくかい説などがのっていて、イラストもかわいくて、戦国時代のこともよく分かるし、少し読んだだけで好きになりました。そして、ほかの「戦国姫」も読んでいるうちに、歴史がおもしろいと感じるようになりました。歴史のドラマを見てみたり、戦国ぶしよの図かんを読んだりしたら、さらにきょう味がわいてきました。今では、大河ドラマを見たりしているし、歴史のことをノートに書いたりしています。

歴史学者のことを知ったのは、ドラマです。歴史のドラマを見て

いたら、歴史学者がしよる来のゆめという女の子が出てきました。気になって調べてみたら、歴史を研究する人だと分かりました。それを知ったとき、わたしも歴史学者になって、おもしろい歴史を後生に伝えたいと思いました。それで、歴史学者になることを決めました。

歴史の好きな所は、歴史を知ること、昔のい人たちとつながれるような感覚になれるところです。わたしは歴史をいろんな楽しみ方で楽しみます。本を読んだり、実さいに城に行ったり、ドラマを見たりします。

最近は大山城に行きました。これまで国ほうの城は行ったことがなかったのも、とても楽しかったです。

また、わたしは、だてまさむね公が大好きです。テレビや小説ではかっこよく書かれています。が、実はこっさりいっきをくわだてて失敗したり、またいっきをくわだてて失敗したりしています。でも、わたしは、まさむね公の何度失敗してもめげないところが大好きです。なので、歴史学者になったら、まさむね公のことをたくさん調べて、ろん文を書いて発表したいです。

ほかにも好きなぶしよは、たくさんいます。本ただかつ公は、主君・徳川家康公のためにとつてもつくしていたので、大好きです。

古典文学もとても好きです。「源氏物語」や「枕草子」、「竹取物語」などをよく読みます。まだ読んでいない本もたくさんあるので、ほかの本も読んでみたいです。

歴史学者になるには、具体的にどうすればいいのか調べてみたところ、まず、大学で歴史をせんもんに学びます。その後、博物館や史料館など歴史に関係するところにしゅうしよくしたり、大学に残

って研究を続けたりすることが一ぱんだそうです。もしせん門にしたい分野が決まっているのなら、それをせん門にする大学や研究室を調べて進学するのが近道だそうです。わたしは、戦国時代をせん門にしたいです。歴史学者になるために、特別なしなくては必要ないです。でも、博物館など特定の場所で仕事をするとき、学芸員などのしなくては必要だそうです。

また、歴史学者になるためには、歴史の知しきだけでなく、芸じゆつ、地理、漢文や古文などの知しきが必要です。その中でも漢文や古文はむずかしそうなので、大きくなったら習うと思うけど、それより先に勉強してすらすら読めるようになりたいです。

歴史学者になるのはすつごくむずかしいと思うけど、なるために、今からでもいろいろなことをがんばりたいです。